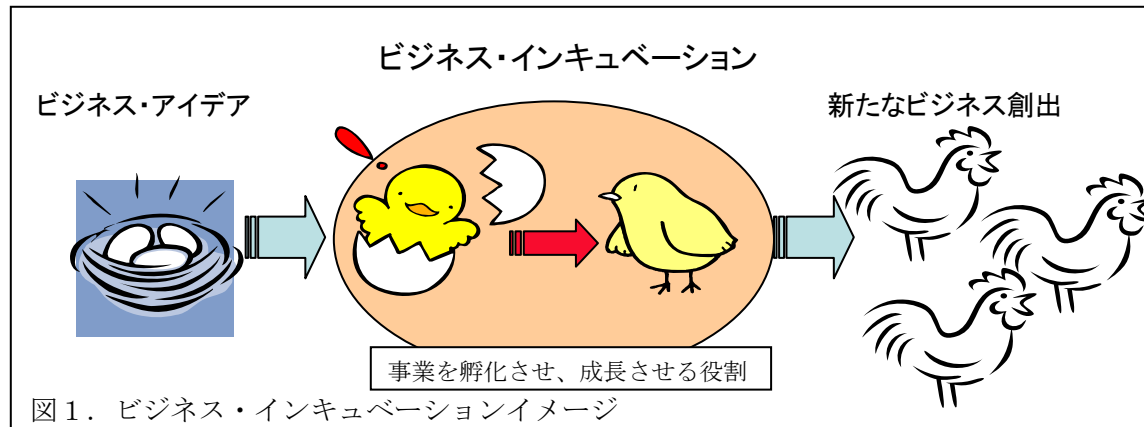


(財) 滋賀県産業支援プラザ あなたの夢をサポートします！ 創業支援室 NewsLetter 5月号

(財) 滋賀県産業支援プラザ創業支援室では、コラボしが21 県立テクノファクトリーのインキュベーション施設を運営
インキュベーション（創業準備オフィス、創業オフィス）、草 しており、創業や新技術開発など、インキュベーション・マ
津 SOHO ビジネスオフィス、米原 SOHO ビジネスオフィス、滋賀 ネジャーによる段階に応じた支援を行っています。

起業をお考えの方は、(財) 滋賀県産業支援プラザ 創業支援室まで 077-511-1416

特集 ビジネス・インキュベーションとは



「ジョセフ・マンキューソー氏（写真）が4月22日に逝去（享年88歳）」との情報が飛び込んできた。

故ジョセフ・マンキューソー氏こそがビジネス・インキュベーションの生みの親であり、最初のインキュベーション・マネジャーでもあります。我々インキュベーション・マネジャーにとっては、もっとも尊敬する偉大な存在でした。ご冥福をお祈りします。

さて、ビジネス・インキュベーションとは何か、今月の特集はインキュベーションについて取りあげます。

1. ビジネス・インキュベーションの起源

1950年代、米国ニューヨーク州バタビアの町において大規模農機具工場が閉鎖されました。町には多くの失業者があふれ、人々は絶望の淵に追い込まれたに違いありません。

主を失ったその建物は1社が借り受けするにはあまりにも大きく、建物の管理を任されたマンキューソー氏は建物を細かく仕切り、失業者の中で起業を志すものを入居させ、単に部屋を貸し出すのみならず、お金の工面をふくめ、経営に関するさまざまな面倒を見たといわれています。

当時、献身的な氏の支援を受け多くの起業家がこの建物を巣立ち、地域には、いろいろな事業が生まれ、町はにぎわいを取り戻したことと思います。

この建物は、現在もバタビア・インダストリアル・サポートセンターとして現存しています。このバタビア・インダストリアル・サポートセンターがビジネス・インキュベーションの起源であり、マンキューソー氏が最初のインキュベーション・マネジャーと言われるゆえんです。町に溢れる失業者を“何とかしなければ”という思いが、氏を動かしインキュベーションの原型を生み出したのです。

2. インキュベーションの由来

次に、なぜこの施設がインキュベーションと呼ばれるようになったのか。インキュベーションとは孵化器、孵卵器などと訳されますが、実際区分けをされた建物に、入居していた起業者の中に養鶏業者が居て、孵化器を使い卵から雛をかえしていたそうです。そこで、マンキューソー氏が起業者の世話をしながら多くの事業を立ち上げる自らの事業と似ていたので、冗談で自分は「ビジネス・インキュベータを経営している」と言ったの

がこの言葉の始まりだそうです。（出所：JANBO <http://www.janbo.gr.jp/>）

さて、皆さんはインキュベーションがどのようにして誕生したのか、おおよそご理解いただけたものと思います。ビジネス・インキュベーションとはインキュベータと称される①貸しオフィスの提供（ハード支援）と②インキュベーション・マネジャーの支援（ソフト支援）にその価値は見いだされます。したがって、①の貸しオフィス支援のみの提供ではインキュベーションとは言えません。

3. インキュベーションの価値

インキュベーションの目的はあくまでビジネス・シードの事業化です。したがって、新技術、新製品、新サービスの開発にとどまらず、マーケットに認知され、製品やサービスが売れ、事業が成長のスパイラルに入ることが重要です。

企業価値を計る場合、その企業が将来生み出す現金の現在価値の総和で求める方法があります。インキュベーションの価値も、育成した企業の現在価値の総和で求められるかもしれませんね。そういった意味では、インキュベーションの価値を上げるためには、現金を稼ぐ企業を数多く育成するにかかっているかのように思います。それはそれで誤りではありません。ただ、現金を稼ぎ、地域の経済・産業の活性化に資する企業の育成だけでよいのか。我々創業支援室は、売上規模や利益のみではなく、たとえ小規模でも地域で必要とされるユニークな企業のお手伝いも積極的に取組みたいと考えています。そのことが価値の創造と考えています。

4. インキュベーション・マネジャー

起業活動は夢もあるが孤独で厳しく辛いのが現実です。グーグル、ヤフー、アマゾンなど世界的なベンチャー経営者を見るにつけ華やかで格好良いものですが、彼らも決して平坦ではなかったでしょうし、死にものぐるいの努力の結果です。また、華々しく成功するケースも一握りでしかありません。多くの起業者は、思ったほどのマーケットの反応がなく簡単には売れない。虎の子の資金もみるみる目減りし、不安で眠れない夜が続く。これが起業者の実態ではないでしょうか。そのような時に千手観世音菩薩のように手をさしのべるのがインキュベーション・マネジャーというと少々言い過ぎかもしれませんが、孤独に陥りやすい起業者の伴走者としてインキュベーション・マネジャーが存在するのです。

5. コラボしが21インキュベーション

コラボしが21インキュベーションは「コラボしが21」の4階に設置されています。創業準備オフィスと創業オフィスの2つの機能を持ったインキュベーションです。ビジネスがゼロからスタートの方は、夢の実現の第1歩が創業準備オフィスからとなります。入居起業者は創業準備オフィスの入居期間6ヵ月間で①事業計画のブラッシュアップ②営業活動③資金計画④経営知識習得など、ビジネス孵化のための活動を行います。6ヵ月間で孵化しなければ次のステージ（創業オフィス）に進級できませんので、一日一日がとても重要な時間となります。その間はインキュベーション・マネジャーがサポートします。

創業準備オフィスでビジネス孵化した起業者は次のステージとして、孵化したビジネス・シードを大きく成長させる事業化に向けての活動が必要ですが、その事業の成長支援を行う施設が創業オフィスです。孵化したビジネス・シードは、そのまま順調に成長するわけではありません。思ったほど、マーケットの反応はよくなかった。また、競合との熾烈な戦いに負けて撤退ということになるかもしれません。

マーケットに受け入れられるための改良や競合の少ないマーケットへの進出など、生き残り成長させるためには戦略構築がとても重要になってきます。それから事業の成長に合わせて、資金調達も重要なポイントになります。財務諸表にも配慮する必要も出てきます。起業するには創業準備オフィスに入居していた時とはまったく異なる広範な経営手腕が要求されます。

「コラボしが21インキュベーション」ではこのような起業者の経営課題解決のためにインキュベーション・マネジャーの支援と共に、同じ建物の2階にオフィスがある(財) 滋賀県産業支援プラザの経営支援Gと連携し、起業者に最適な支援メニューを提供します。

起業を志す皆さん、一度「コラボしが21」4階、創業支援室に足を運んでみませんか。インキュベーション・マネジャーが相談に乗ります。

(創業支援室長 西岡 孝幸)

以上6月号の特集予告

「コラボしが」におけるビジネス・インキュベーション連携モデル

決算書は社長の通知簿

講師 税理士法人 中央総研

清水 秀友 氏、小西 弘晃氏

日時 平成20年3月18日(火) 17:30~19:30

場所 コラボしが21 インキュベーション



コラボしが21 インキュベーションの入居企業から要望の多い財務面の勉強会です。

講師の清水氏、小西氏の両講師とも、赤字体質の企業経営者の多くは、“決算書の数字の見方がわからない”、または“会社経営に危機感がない”方が非常に多いと実感しているということです。では、黒字体質の企業経営をするには、何をすればよいのでしょうか。それは、社長が会社の数字に強くなることだと言うことです。

決算書は数字が並んでいて、よくわからないという経営者が多いのですが、決算書は社長の通知簿であることから、決算書の見方を、わかりやす

コラボしが21 インキュベーションでは、入居企業を対象とした勉強会を開催しています。勉強会の模様をレポートします。

く解説していただきました。講義から1つ紹介します。それは“1%のこだわり”です

【1%のこだわり】

	例	%	原価1%下げる	売上1%上げる
売上	100,000		100,000	101,000
原価	60,000	60	59,000	60,600
売上総利益	40,000	40	41,000	40,400
人件費	20,000		20,000	20,000
経費	15,000		15,000	15,000
営業利益	5,000	5	6,000	5,400
支払利息	3,000		3,000	3,000
経常利益	2,000	2	① 3,000	② 2,400

150%UP (from 2,000 to 3,000)
120%UP (from 2,000 to 2,400)

【1%のこだわり】の図表の損益計算書(P/L)の例で売上が1億円で経常利益が2百万円の時、仮に原価を1%下げる経営努力をしたら、どうなるのでしょうか。経常利益が例より50%増の3百万円になります。また、売上を1%上げる経営努力をすれば、経常利益は20%増の2.4百万円となります。1%の経営努力がこのような結果につながるのです。これを聞いた参加者は、実際に電卓を使って計算し、1%のこだわりの重要性、1%の大切さを理解できた様子でした。

税理士法人 中央総研

〒520-2331 滋賀県野洲市小篠原 896-5

Tel 077-586-0305 (代) Fax 077-586-0307

4月から創業支援室にて、みなさんの創業のお手伝いをする事になりました矢田泰三です。ぜひ、みなさんの創業にかける熱き思いを教えてください！様々な支援メニュー・ネットワークを駆使してみなさんに「知恵と親切」を提供できるように精一杯頑張ります。

親身でスピーディーな対応が信条です、創業に関する相談・質問は

『コラボしが21 4階 創業支援室』へ！



創業支援室 矢田 泰三

米原 SOHO ビジネスオフィス

滋賀県米原市下多良 2-137

文化産業交流会館 4F

TEL 0749-52-9200



滋賀県立テクノファクトリー

草津市野路町字砂池 2257-4

TEL 077-516-0410



ビジネスインキュベーション入居者募集

◆米原SOHOビジネスオフィス

申込期限 平成20年5月30日まで

お問い合わせ先

県庁商業観光振興課 TEL 077-528-3731

◆コラボしが21 インキュベーション

創業オフィス

申込期限 平成20年6月20日まで

お問い合わせ

(財) 滋賀県産業支援プラザ創業支援室

TEL 077-511-1416

ビジネス・インキュベーション

コラボしが21 インキュベーション

滋賀県大津市打出浜 2-1 コラボしが21 4階

TEL 077-511-1416



草津 SOHO ビジネスオフィス

滋賀県草津市大路 1-1-1 エルティ 932 4階

TEL 077-566-8121



Business Incubation

創業支援室 News Letter 5月号

発行：(財) 滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 2番1号

TEL : 077-511-1416 FAX : 077-511-1419

E-mail : in@shigaplaza.or.jp

URL : <http://www.shigaplaza.or.jp/>

©2008 財団法人 滋賀県産業支援プラザ